

南国市生活交通ネットワーク計画
調査報告書

平成24年3月

南 国 市

南国市生活交通ネットワーク計画調査報告書

目次

はじめに

1. 社会経済環境の状況	1
1-1. 人口等の動向	1
1-2. 産業の動向	9
2. 公共交通の現状	14
2-1. 南国市における公共交通の状況	14
2-2. 公共交通空白地等の検討対象地区に関する路線バスの状況	24
3. 上位計画・関連計画等の整理	25
3-1. 国の制度	25
3-2. 市の計画	30
4. 公共交通に関するニーズ等の把握	34
4-1. 市民アンケート調査	34
4-2. バス利用者ヒアリング調査	84
4-3. 鉄道・路面電車利用者ヒアリング調査	98
4-4. 公共交通事業者ヒアリング調査	106
4-5. 商業者ヒアリング調査	112
4-6. 集落別ヒアリング調査	114
4-7. 医療機関ヒアリング調査	125
4-8. 乗合タクシーに関する住民アンケート調査	127
4-9. 第2回市民アンケート調査	148
5. 公共交通に関する現状・ニーズ分析と課題整理	166
6. 生活交通ネットワーク計画	174
6-1. 生活交通ネットワーク形成の基本方針	174
6-2. 生活交通ネットワーク形成計画	177
6-3. 地域公共交通確保維持改善事業に係る目的・必要性	179
6-4. 地域公共交通確保維持改善事業に係る定量的な目標・効果	179
6-5. 生活交通を確保維持するための運行計画	180
6-6. 利用促進のための取り組み	182
6-7. 3カ年計画以降の中長期的な交通体系について	183
＜参考資料＞	
1. 南国市地域公共交通会議および各調査スケジュール	185
2. 南国市地域公共交通会議 開催状況	186
3. 南国市地域公共交通会議 委員名簿	187

はじめに

本市は、高知市の東に隣接し、県東部に延びる土佐くろしお鉄道「ごめん・なはり線」とJR四国「土讃線」の結節点である「後免駅」や路面電車との結節点である「後免町電停・後免町駅」を有するほか、高知自動車道および国道32号、国道55号、国道195号が通っており、また、現在、建設中の高知東部自動車道も平成27年度には高知空港ICまで開通となるなど、高知龍馬空港、高知新港と併せ、高知県の交通拠点となっています。

しかしながら、市民の日常生活においては利用者の減少によるバス路線の廃止や、地域住民の高齢化の進行に伴う交通手段を持たない交通弱者の増加、特に中山間地域において「公共交通空白地」の問題が顕在化してきています。また、本市が委託運行している2路線をはじめ路線バスの利用が低迷しており、利用者の拡大や路線の見直しなど、今後の公共交通の在り方が課題となっています。現在、路線バス事業者に支出している補助金等は総額で4,000万円近くにのぼり、鉄軌道も含めるとさらに多額の補助金等を支出し、公共交通を維持している現状にあります。

これらの状況を踏まえ、公共交通空白地を解消し、地域の実情、利用ニーズに合わせたより効率的な公共交通体系の確立が求められています。しかしながら、本市では、これらの課題に対処する公共交通の計画が策定されておらず、同時に地域の実情や利用者のニーズ等も詳細には把握できておらず、また、バス路線の運行に関しても十分な分析・検証を行えていない状況にあります。

したがって、これらの課題に対処していくため、平成23年5月に公共交通関係者や地域住民からなる南国市地域公共交通会議を設立し、地域の実情に応じた最適な住民の移動手段が提供されるよう、国の地域公共交通確保維持改善事業を活用し、生活交通ネットワーク計画を策定するための調査・分析を行うことにしました。

○生活交通ネットワーク計画策定までの流れについて

この調査報告書は、本市の公共交通体系を効率的でわかりやすいものにするよう見直しを行うため、基礎調査やニーズ調査、また、それらの調査結果を分析し、本市の生活交通ネットワーク計画を策定することを目的としてまとめたものです。

計画の策定までの流れは、「基礎調査→ニーズ調査→課題整理→データ分析→計画策定」となります。

本調査では、ニーズ調査段階で、市民アンケート調査を含め7種類のアンケート・ヒアリング調査を実施し、市民の移動実態やニーズの把握を行いました。そして、その結果を基に、公共交通に関する課題を抽出するとともに、データ分析を行い、先進地事例も参考にしながら、本市の実情に応じた交通体系の見直しの検討を行いました。

また、計画の素案の段階では、計画に対する2回目の市民アンケート調査やパブリックコメントを実施し、その結果を計画策定にあたっての参考としました。さらに、山間部での乗合タクシー運行を新たに計画している地区において、全戸対象のアンケート調査を実施し、より詳細な住民の移動実態と乗合タクシーの需要見込みの把握を行いました。